

戊辰戦争 150年



田島橋畔 曲渕側堤防／西郷隆盛の弟 西郷吉二郎被弾の地



只見町河井継之助記念館



赤坂峠古戦場跡

No.29
2018
8.16
SUMMER

**さんじょう
市議会
だより**

議会を傍聴しませんか？

次の定例会の
開催予定は

9/10日～

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。

電話：0256-34-5583 FAX：0256-33-8861

メール：gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも情報発信中！

三条市議会

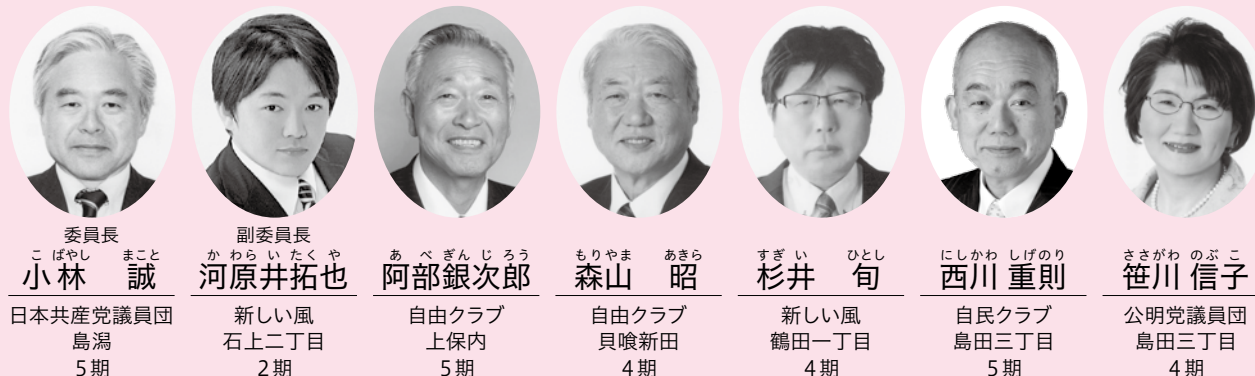
検索

今号の主な内容

- 《22人で始動》…………… P2
- 《平成30年6月定例会(6月19日～7月3日)》
 - 議案賛否一覧…………… P4
- 《市政を問う》
 - 大綱質疑…………… P6
 - 一般質問…………… P8
 - 常任委員会審査レポート…………… P13
- 《平成30年5月臨時会(5月21日)》
 - 議案賛否一覧…………… P14
- 《報告》
 - 政務活動費収支…………… P15

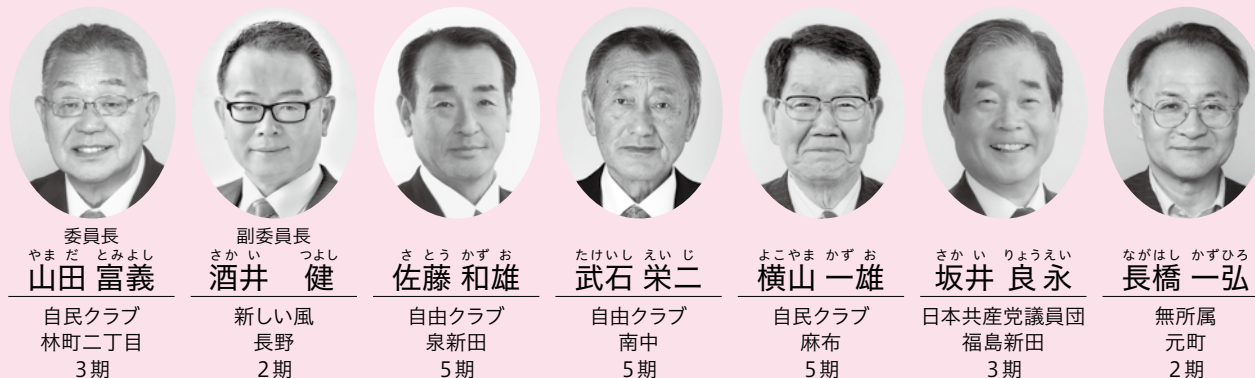
市民福祉常任委員会 (定数7人)

【所管部局】市民部、福祉保健部



経済建設常任委員会 (定数7人)

【所管部局】経済部、建設部、農業委員会



議会運営委員会 (定数8人)

議会の円滑な運営を図るために、会期の決定や議会の運営、議事の取り扱いなどを協議します。

委員長 佐藤和雄
副委員長 河原井拓也
野寄久雄 馬場博文 名古屋豊 横山一雄 西沢慶一 笹川信子

高等教育機関調査特別委員会 (定数22人)

実学系ものづくり大学および医療系高等教育機関に係る調査・研究を行います。

委員長 西川重則
副委員長 笹川信子
長橋一弘 坂井良永 馬場博文 野寄久雄 河原井拓也 酒井 健 岡田竜一
山田富義 小林 誠 西沢慶一 森山 昭 野崎正志 名古屋豊 杉井 旬
佐藤宗司 武石栄二 阿部銀次郎 佐藤和雄 久住久俊 横山一雄

議会報編集委員会 (各会派および無所属議員)

市議会の活動状況を広く市民にお知らせし、議会に対する理解と関心を深めてもらうため、市議会だよりを編集します。

委員長 笹川信子
副委員長 馬場博文
河原井拓也 佐藤宗司 坂井良永 長橋一弘

22人で始動

市議会の新体制決まる



議長就任あいさつ

議長 阿部銀次郎

このたび議長を拝命いたしました。

三条市は、今後数年間で296億円の高費で実学系ものづくり大学や医療系高等教育機関を含め数多い事業を計画、実行に取り組んでいるところであり、議会の使命である審議機関としての役目をしっかりと果たしてまいりたいと思います。

今後とも市民の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



副議長就任あいさつ

副議長 岡田 竜一

このたび副議長職を拝命しました。大変身の引き締まる思いであります。

4月の改選時の投票率が54%という状況を議会全体で共有し、さまざまなことを任期中に議論し、形にしていくなかになったと思っています。

地方分権25年といわれる本年、議会の役割を改めてしっかりと認識し、より本質的な議論が進むよう努めてまいりたいと思います。

どうか市民の皆さまの引き続きのご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

常任委員会

市の行う事務や議案に関する調査を効率的、専門的に行うため議会が設置するもので、三条市には3つあり、議員はいずれかに所属します。議案は、本会議で直ちに決めるものもありますが、市の行う事務が幅広く内容が複雑なため、議案や請願の審査を常任委員会に付託して、所管部局から詳しい説明を受け、質疑を行って委員会としての結論を出し、本会議に報告します。

総務文教常任委員会 (定数8人)

【所管部局】
議会事務局、総務部、サービスセンター、会計課、
選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、
固定資産評価審査委員会、教育委員会、消防本部、その他



議案				会派名 (下段は所属議員数)						議決結果
区分	番号	件名	概要	審査した委員会	自由クラブ	新しい風	自民クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	
予算	議第11号	平成30年度三条市一般会計補正予算	国の補助金を受け、ものづくり技術を生かした木質バイオマスシステムの構築に向けた調査、研究等に係る経費について、必要な予算措置を行うもの 補正額 1,600万円 補正後の額 481億9,796万9,000円	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	原案可決
	【議員発案】									
	第1号	特別委員会の設置について	市議会に「高等教育機関調査特別委員会」を設置するもの 定数 22人 調査内容 1 実学系ものづくり大学に係る調査・研究 2 医療系高等教育機関に係る調査・研究		○	○	○	○	○	原案可決
	第2号	30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の復元を求める意見書の提出について	学級規模を30人以下とし、義務教育費国庫負担割合を復元するよう要望する意見書を提出するもの 提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣		○	○	○	○	○	原案可決
請願	第3号	核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出について	速やかに条約に調印し、それまでの間は締約国会合および再検討会にオブザーバーとして参加するよう要望する意見書を提出するもの 提出先：内閣総理大臣、外務大臣		○	○	○	○	○	原案可決
	第1号	30人以下学級実現及び義務教育費国庫負担制度の復元を求める請願	学級規模を30人以下とし、義務教育費国庫負担割合を復元するよう要望する意見書の提出を求めるもの	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	採択
	第2号	核兵器禁止条約への調印を求める意見書提出に関する請願	速やかに条約に調印し、それまでの間は締約国会合および再検討会にオブザーバーとして参加するよう要望する意見書の提出を求めるもの	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	採択



会派所属議員				
自由クラブ	○久住 久俊 森山 昭 馬場 博文	阿部銀次郎 武石 栄二	佐藤 和雄 野寄 久雄	
新しい風	○杉井 旬 酒井 健	岡田 竜一 河原井拓也	名古屋 豊	
自民クラブ	○西川 重則 山田 富義	横山 一雄	佐藤 宗司	
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永	
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子		
無所属	長橋 一弘			

※○：会派の代表者

議席図

図中の番号は議席番号です。

傍聴席

	17 武石栄二																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													</
--	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

6月定例会は、6月19日から7月3日までの15日間にわたって開かれました。
初日は、全国市議会議長会の表彰状伝達式を行ったほか、教育委員会委員の任命および固定資産評価審査委員会委員の選任について採決を行い、いずれも同意しました。
このほか市長提出議案は、「三条市税条例等の一部改正」などの条例案件、除雪力の向上を図る小型除雪車の「動産の取得」、実学系ものづくり大学および医療系高等教育機関の施設建設に必要な用地の取得や、旧大崎中学校の校舎棟の解体工事に係る経費などを盛り込んだ「平成30年度三条市一般会計補正予算」約17億7,290万円など9件が上程されました。
これらの議案は、各常任委員会での審査を経て、最終日の採決の結果、全て原案のとおり可決または同意しました。
このほか請願の採決に伴い、関係行政へそれぞれ意見書を提出することとし、今後実学系ものづくり大学および医療系高等教育機関に係る調査・研究を行うため、市議会に22人の全議員による高等教育機関調査特別委員会を設置し、審査していくことにしました。

全議案原案のとおり決定	定	6
	例	月
	会	平成30年・第3回

議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成
×：議案に対して反対

議 案					会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新し い風	自民 クラブ	日本共 産党議 員団	公明 党議 員団	無 所 属	議 決 結 果
区 分	番 号	件 名	概 要	審 査 し た 委 員 会	7	5	4	3	2	1			
【市長提出】													
人 事	議第1号	教育委員会委員の任命について	教育委員会委員坂爪公男さんは、平成30年7月25日任期満了することとなるので、その後任委員として佐藤俊光さんを任命するもの		○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員斎藤正勝さんは、平成30年6月29日任期満了することとなるので、その後任委員として越澤文雄さんを選任するもの		○	○	○	○	○	○	原案可決		
条 例	議第3号	三条市税条例等の一部改正について	地方税法の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日：公布の日等	総務文教常任委員会	○	○	○	×	○	○	原案可決		
	議第4号	三条市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日：公布の日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第5号	三条市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件が見直されたことから、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日：公布の日等	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第6号	三条市介護保険条例の一部改正について	介護保険法施行令の一部改正に伴い、必要な改正を行うもの 施行期日：平成30年8月1日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	議第7号	三条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	介護保険法施行令および介護保険法施行規則の一部改正に伴い、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が見直されたことから、本市においてもこれに準じるため、必要な改正を行うもの 施行期日：公布の日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決		
その他	議第8号	新潟県中越福祉事務組合規約の変更について	福祉型障害児入所施設まごころ学園に障害者支援施設まごころ学園を併設することなどに伴い、必要な改正を行うもの 施行期日：平成30年8月1日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	○	○	原案可決		
予算	議第9号	平成30年度三条市一般会計補正予算	実学系ものづくり大学および医療系高等教育機関の施設建設に必要な用地の取得や、旧大崎中学校の校舎棟の解体工事に係る経費などについて、必要な予算措置を行うもの 補正額 17億5,690万2,000円 補正後の額 481億8,196万9,000円	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	×	○	×	原案可決		
その他	議第10号	動産の取得について	小型除雪車 1台 取得金額 2,073万6,000円 契約者 株式会社日の出自動車	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	同意		

5ページへ続く

？を
問いました

大綱質疑

6月定例会では、
4会派が大綱質疑
を行いました。

議第3号

三条市税条例等の一部改正について

問 今回の条例改正は、国会で成立した所得税法および地方税法の一部改正によるもので、給与所得控除と基礎控除の改正が行われた。三条市での給与所得者・年金受給者は何人で、全納税義務者中の割合はどの程度になるのか。

また、給与所得控除の上限が収入1000万円から850万円に引き下げられたが、三条市での影響はどの程度になるのか。

答 対象となる給与所得者は4万2280人、年金所得者は2万4160人、給与と年金の両方の所得がある方は1万150人で全体の95%ほど。上限の引き下げの影響は1300人程度と見込んでいる。

問 この改正により収入金額は変わらないのに所得金額が増えることで、行政サービスに影響が出るのではないのか。

答 不利益が生じないよう適切な措置が講じられるので影響はない。

議第9号

平成30年度三条市一般会計補正予算

問 実学系ものづくり大学と医療系高等教育機関について、校舎は無償で貸すのか。スケジュールは予定通りか。

答 無償提供する。大規模改修などの経費負担は協議中。医療系は平成32年4月、大学は平成33年4月の開設を目指している。

問 旧大崎中学校の校舎解体工事費について、どこを解体するのか。下町遺跡の活用は考えているのか。

答 普通校舎棟と特別校舎棟を解体する。報徳福祉会から跡地活用要望があり、検討している。体育館と武道場は改修した上で避難所やコミュニティ、スポーツなど地域活動の場としての利用を考えている。遺跡の保存には十分配慮する。

問 ふるさと納税の返礼品にカタロギフトなどがある。総務大臣は返礼割合を3割以下とすることに加え、返礼品については地元で生産されたものや提供されるサービスが適当であり、良識ある対応をと求めている。挑発的ではないか。

答 総務省から問い合わせがあったが、間違った制度を確立したのとはあなた方だ、事情を聞きたいなら皆さんが足を運ぶべきと言っている。カタロギフトというビジネスモデルを創造し、展開している企業もある。総務大臣の通知を甚だしく逸脱している認識はない。

問 高等教育機関の土地購入費について、実学系ものづくり大学と医療系高等教育機関とに分けて土地購入費が計上されている。分筆登記するのか、実学系と医療系の購入面積の案分割合の根拠は何か。

答 予算上は区分しているが敷地は一体で購入する。面積の案分は、専用部分と共用部分とに区分し、共用部分を学生数などにより案分したものである。

議第10号 動産の取得について

問 今回取得する小型除雪車は1.3t幅だが、なぜこの車両が必要になったのか。また、当初予算に計上している8トン級2台の取得はどうなるのか。

答 当初は除雪ドーザーの更新を予定していたが、今冬の大雪の状況を踏まえ小型ロータリー除雪車を購入することにした。道路拡幅や歩道除雪など機動的な活用ができるものである。

議第11号

平成30年度三条市一般会計補正予算

問 木質バイオマス燃料による熱エネルギーを活用する調査費が計上されたが、そのシステムとはどのようなものなのか。また調査、研究を行った結果、三条市にとって期待される効果はどのように考えているのか。

答 市内にある剪定枝や間伐材、み殻などの木質バイオマスを燃料として熱供給を行うシステムを構築するものである。

木質バイオマスとして固化する設備を試作開発し、その燃焼性を評価して、今後の事業可能性を研究するものである。

当市の環境基本計画に掲げてある循環型社会の実現に向けて取り組むものである。

問 国のエネルギー構造高度化転換理解促進事業補助金を受けて、ものづくり技術を生かした木質バイオマスの構築に向けた調査研究を行うとのことだが、今までの事業とのつながり、今回対象となった事業とは何か。

答 平成27年3月に三条市バイオマス活用推進計画を策定し、バイオマス資源の活用、再生可能エネルギーの活用、間伐材等を利用した再生可能エネルギーの推進、ものづくりの技術を生かした再生可能エネルギーの利用促進に取り組んできた。平成29年3月には木質バイオマス発電所が本格稼動を開始した。

三条市における木質バイオマスの賦存量^{※1}や公共施設における熱需要を調査し、木質バイオマスの燃料として固化する設備の試作開発を行い、その燃焼性を評価するものである。

※1 理論的に導き出された量



討論

日本共産党議員団
議第3号 三条市税条例等の一部改正について

この一部改正は国の地方税法の改正により、必要な改正が行われるものである。中小企業者の一定の固定資産について、課税標準額をゼロにする改正は必要なことだが「地方経済のけん引」をうたって一部企業のみ支援を特化する経済政策になりかねない。三条市税条例の一部改正に反対する。

議第9号 平成30年度三条市一般会計補正予算

高等教育機関費のうち実学系ものづくり大学施設建設事業費8億2185万円の土地購入費についてである。学生の集まる魅力が長期インタナシッブを核とした教育課程ということである。それが成り立つ条件としてインタナシッブの受け入れ先として基本的には720社の協力が必要だが未知数だ。

応募する学生から見ると実学系ものづくり大学を選ぶ決定的なプラス要因はない。また、企業から見て他の大学よりもこの大学の卒業生を採用したいという魅力も希薄である。

高校の卒業生が減少していく少子化の中で、定員割れが生じた場合、市財政の持ち出しも考えなければならぬ。市民との合意形成の上でも、漠然と大学ができることは好ましいという程度の認識で、中身については知らされていない。実学系ものづくり大学の計画には無理があるので土地購入費に反対する。

議第9号 平成30年度三条市一般会計補正予算 実学系ものづくり大学施設建設事業費、用地取得について反対

「限られた予算を市民的に使う」という原理原則から考えて、「実学系ものづくり大学」は優先度が極めて低い。

「市民に過度な負担をかけずに安定した行政サービスを提供する」と掲げているが、このままでは市民の負担は増えこそすれ減らず、逆にサービスは減りこそすれ増えないことが危惧される。

「支払いの平準化」、「世代間の負担の公平」は当然のことであるが、今でさえ「後世に負担を強いる負債の先送り状態」である。

親の負の遺産は相続放棄ができるが、自治体の負の遺産は将来世代には逃げようがない。

少子化対策を声高に言うなら、将来世代が安心して生活できる未来のために借金を残してはならない。

著しい世代間の不公平は、「財政的児童虐待」と言われる。

赤字財政の解消のめども立てずに、将来世代にツケを回している状態が三条の財政である。

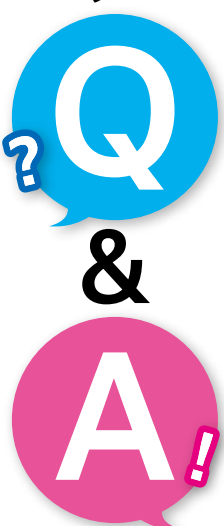
受益と負担の関係を曖昧にしたまま場当たりの財政を運営してきた結果である。

以上の理由から議第9号に反対する。

一般質問

ダイジェスト

議員と
行政の



市政の？を
問いました



三条庁舎の耐震性について

問 6月18日朝、大阪北部を中心に震度6弱の地震が発生し、死亡者も出た。これまで三条庁舎は耐震性に問題があると繰り返し質問してきた。東日本大震災では、この本庁舎の外壁の一部も壊れた。県内に三条庁舎同様、旧耐震基準で建てられている庁舎は9カ所。そのうち大規模な地震で倒壊し、崩壊する危険性があると判断されたのは新潟市役所分館と三条市役所本庁舎高層棟の2つだけ。他の自治体本庁舎は既に耐震補強等を完了しており、本庁舎に限れば三条市だけが残っている。このような状況でもまだ三条市は危険なまま放っておくのか。

答 三条庁舎の耐震補強工事は困難。引き続きメンテナンスをしつかり行い建物の劣化を防ぎたい。



庁舎の外壁

一中一体校での落雪事故について

問 一中一体校ではこれまで落雪防止工事が行われてきた。この冬、落雪事故が発生し、損害賠償と

下田地域の観光について

問 どのように支援していくのか、また地域の振興策は。
答 主体は地域。意見交換の中で必要な支援を行っていく。また、大勢の方が下田を訪れようとしている。これに対し、地域が主体的・積極的に自ら展開することが前提。そういう環境を整えていく。

職員の勤務について

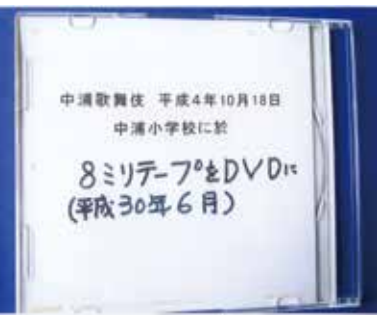
問 新聞に職員らしき投稿があったが感想は。
答 匿名投稿にコメントはしない、投稿にあったような実態もない。
問 時短ハラスメントがあるのではないか。
答 そのような実態はない。

平成30年度施政方針について

問 施政方針と10月実施の市長選挙への対応について伺う。
答 その期ごとの4年間との思いで仕事を行っている。選挙期日というものが視界に入ったと捉えるのが現時点での率直な思いだ。

芸術文化振興について

問 魅力ある地域資源の活用と発掘について伺う。
答 下田郷の民俗芸能を地域資源と捉える。各種補助制度等の情報提供を通じ活動を後押しする。
問 民俗芸能「中浦歌舞伎」について伺う。
答 再興に向け関係資料の調査を実施。伝承機運に向け取り組む。



26年ぶりに発掘された上演風景のDVD

平成30年度地方税制改正について

問 森林環境税は市民に納得できる税となるのか伺う。
答 平成36年度からの課税である。県が行う広報と併せ、市においても制度の趣旨等の広報を行う。
問 森林環境税と税への対応について伺う。
答 平成31年度新たな財源見込み額は800万円弱である。毎年度

花角新知事の手腕に期待！

問 新知事に三条市・燕三条地域として特に期待する点はどこか。
答 県独自の支援策や販路開拓など他県に比較して圧倒的に劣後していた産業施策の充実強化について強調していきたい。

新潟県中央工業高校はわが地域の生命線

問 県による再編の可能性を否定できない新潟県中央工業高校について、行政として存続に向けて積極的な関与を考えるべきではないか。
答 同校はものづくりのまちにとって人材の安定輩出の視点からもまさに生命線。同校との連携協定は実学系ものづくり大学開学に向けてのものだが、結果として同校存続への一定の効果を期



県立新潟県中央工業高校

守れ、子どもたちの安全安心

待している。統廃合等の俎上に載ったときは、燕市長らと連携して断固反対する。

問 ドライブレコーダー搭載車両を保有するタクシー・バス事業者など市内企業の見守り協力体制を構築するべきではないか。
答 既に一部企業で見守り活動に協力いただいているが、今後もさらに協力を呼び掛けていきたい。

授業力のない先生、どうする？

問 授業力に劣る教職員をどのように指導していくのか。
答 教職員が主体的に力量・意欲を高めることが重要。教育委員会としても繰り返し学校に足を運び、一人ひとりの心に灯をともしていきたい。

三条市における選挙体制と投票率向上の取り組みについて

問 4月に行われた三条市議会議員選挙において、投票率が54.21%と過去最低の数字であった。今回の投票率の低下は、市議会への期待感の希薄さが如実に反映された結果であり、第一には議員の責任であると考え、第一には市としても危機感を共有していただき、投票率の向上に向けて今後さらに取り組んでいくべきではないか。
答 街頭啓発活動、広報紙による棄権防止の周知を図る等、今後も選挙の重要性に対する理解と関心を高める取り組みをしていく。

下田地域における医療体制の確保について

問 下田地域に医師が来てもらえるように、市としても医師確保のコンサルタント業者に依頼しているところだが、業者に依頼してから約1年半近くたつが現在の状況はどうか。
答 現在まで市との面接に至った方はいない。コンサルタント業者と連携を緊密にしていく。

三条市の防災訓練について

- 問** 三条市は7・13水害、7・29水害を教訓とし災害に強いまちづくりを目指し、水害対策は進んでいるが、震災対策が不足しているのではないかと危惧している。地震が発生した際の行動指針はあるのか。
- 答** 三条市震災マニュアルを定めており、それに基づき対応する。
- 問** 燕市では地震を想定した災害訓練を実施しているが、三条市ではそのような訓練をしているのか。
- 答** 三条市では震災想定訓練は実施していない。
- 問** 190年前、三条市芹山を震源にした死者1500人を超える地震が発生している。地震を想定した防災訓練を実施するべきではないか。
- 答** 水害対応の訓練を着実に行うことで震災対策にもつなげていく。



6月24日の第二中学校での訓練

燕三条駅について

- 問** 平成29年の施政方針に燕三条駅に「燕三条工場の祭典」を紹介するコーナーを常設するとともに、そこに配置するコンシェルジュを育成するとなっているがその進捗状況はどうなっているのか。
- 答** 駅構内1階に整備を行うため検討を続けており、コンシェルジュも育成している。
- 問** 三条市は燕三条駅を観光拠点として、どのように位置付けているのか。
- 答** 産業観光の拠点となり、交流人口を拡大できるように取り組んでいきたい。

一般住宅のリフォーム制度の拡充について

- 問** 三条市の一般住宅に対するリフォーム制度は、他に比べてさまざまな制限が付いており利用しにくい。また、他市において三条の業者が助成金付きのリフォーム工事をする場合、その地の業者に限定されて仕事ができず、三条市においては他市の業者は自由に仕事ができる。経済的見地からも一般住宅のリフォーム制度の見直しをすべき。

- 答** 他市のことはコメントできないが、三条市は若者の定住、移住について庁内一丸となって検討しているため、そういうところにも政策目標を置いて研究していきたい。

JR東三条駅周辺の整備について

- 問** 在来線の玄関口であり、特別列車四季島の停車駅であるJR東三条駅の周辺整備が遅々として進んでいないがどうなのか。
- 答** 今年度整備を行う。具体的には、バス停防護柵の更新および西側の歩道の切り下げを行い、アーケードについては安全確認の点検を行うとともに、屋根や立木、幕板の破損箇所の修理を行う。アーケードの抜本的な改修については、来年度以降に検討する。



整備が進むJR東三条駅周辺

郵便投票の対象者の変更

- 問** 要介護5から要介護3へ拡大すると議論がなされている。今後その影響はどのようになるのか。
- 答** 投票率の向上、郵便料金の増加が想定される。周知については広報さんじょう、ホームページへの掲載、パンフレットやチラシの配布を通じて、丁寧な制度の周知をしていきたい。

糖尿病対策

- 問** 糖尿病の予防や重症化を防ぐために、どのような取り組みを行っているのか。
- 答** 健康診査による早期発見、健康診査後の個別の保健指導の実施、適切な医療受診につなぎ、重症化の予防に努めている。

防災・減災

- 問** 今冬の大雪を経験し、道路や踏切の対策をどのように進めるのか。
- 答** 国道8号の拡幅について、同一路線で3力所の同時拡幅に取り組んでいる。

子宮頸がんの予防

- 問** ワクチンの考え方はどうか。
- 答** 対象者への通知はしていない。



大崎地区と井栗地区を結ぶ牛ヶ島踏切

踏切の拡幅については、一定の要件に該当する五明・西中地内の西中踏切において事業を進めている。市道松ノ木合屋線の牛ヶ島踏切は要件に該当しないが、地元自治会から改良要望が出ているため、今後もJRに対し防災の観点から協議を進めていきたい。

国定市政は箱ものづくり優先で市民の暮らしは後回し

- 問** 子どもの医療費助成は県内最低で、若い人は燕市に引っ越して家を建てるという。こんなことでは、うまくないのではないか。

三条市役所三条庁舎の耐震強度と危険性について

- 問** 建築後47年が経過して倒壊の危険性がある。毎日約500人の来庁者がある。三条庁舎の新庁舎の建設を検討すべきである。
- 答** 高層床の耐震補強工事は、現時点では実施困難であるが低層床を中心とした耐震補強工事を検討する。

田島橋畔曲淵側堤防上に建つ「戊辰戦役記念碑」について

- 問** 戊辰戦役150年の今年、西郷隆盛のすぐ下の弟の西郷吉二郎がここで戦死したことが明記してあるこの記念碑をどう活用し、市内外に発信していくのか。
- 答** 市内にある戊辰戦役に関わるほかの史跡や事業と関連して記念碑を紹介したい。併せて、シンポジウムの開催も視野に入れ市内外に情報発信したい。学校現場でも郷土史を学ぶ中で、記念碑の存在を子どもたちに伝えたい。

三条市の財政再建に関して

- 問** 三条市の財政状態をどのように考えるか。
- 答** 「財政指標」の推移は、悪化傾向であるが読み通りであり、健全財政を堅持している。
- 問** 「健全財政」の定義は。

中小企業支援の拡充について

- 問** ものづくり産業基盤の強化について、当市では仕事量の維持、拡大を目指しているが、どのような支援があるのか伺う。
- 答** 工業流通団地の造成、若手の鍛冶職人や技術者の養成も支援し

- 問** 「公債費負担適正化計画」は。作っていない。
- 問** 三条市の「財政規律」は。
- 答** 財政調整基金を最低20億円は確保する。
- 問** 大型事業への投資計画と予算の裏付けおよび返済計画について。
- 答** 概要がはつきりしたら公開する。
- 問** 「財政の柔軟性確保」について。
- 答** 経営戦略プログラムで作成した「財政シミュレーション」の想定内である。
- 問** 「財政状況資料集」が確定したが所感。
- 答** それぞれの自治体には、それぞれの事情があるので比較してもあまり意味はない。
- 問** 三条市の「財政規律」は。
- 答** 財政調整基金を最低20億円は確保する。
- 問** 大型事業への投資計画と予算の裏付けおよび返済計画について。
- 答** 概要がはつきりしたら公開する。
- 問** 「財政の柔軟性確保」について。
- 答** 経営戦略プログラムで作成した「財政シミュレーション」の想定内である。

【常任委員会審査レポート】

各委員会に付託された議案等について、議会最終日に委員長が審査経過と結果を報告します。

問 高等教育機関費について、月岡市内の総合運動公園は立派な野球場はできたが、当初国が認定する陸上競技場も建設する計画であったが、結局財政的な理由でできなくなった。こういう歴史、教訓をしっかりと学んで物事を進めていく必要があるのではないのか。

答 総務省の通知で返礼品割合を3割以下とするよう通知が出たことを受け、3割以下に変更する市町村に対し駆け込みの寄付がなされたこと、また平成29年度に返礼品の贈呈を新規に始めた市町村の寄付金額が増えている傾向があるなど、さまざまな要因があり、現在詳細について究明している。

問 高等教育機関費について、月岡市内の総合運動公園は立派な野球場はできたが、当初国が認定する陸上競技場も建設する計画であったが、結局財政的な理由でできなくなった。こういう歴史、教訓をしっかりと学んで物事を進めていく必要があるのではないのか。

答 三條市の喫緊の課題である少子化に少しでもあらがうために、今一生懸命目標に向かって進んでいる。ご懸念のようなことのないようにしっかりと対応していきたい。

問 三條市の喫緊の課題である少子化に少しでもあらがうために、今一生懸命目標に向かって進んでいる。ご懸念のようなことのないようにしっかりと対応していきたい。

問 三條市の喫緊の課題である少子化に少しでもあらがうために、今一生懸命目標に向かって進んでいる。ご懸念のようなことのないようにしっかりと対応していきたい。

問 三條市の喫緊の課題である少子化に少しでもあらがうために、今一生懸命目標に向かって進んでいる。ご懸念のようなことのないようにしっかりと対応していきたい。

総務文教常任委員会 野崎久雄 委員長
ふるさと三條応援寄付金減少
原因の詳細について究明中

市民福祉常任委員会 小林 誠 委員長
剪定枝やもみ殻等を燃料として活用
するシステムの構築に向け調査

経済建設常任委員会 山田富義 委員長
新除雪車は市街地の道路拡幅の
ために使用

児童生徒の登下校の安全対策について

- 問** 通学路の合同点検の状況はどうか。
答 道路管理者、PTA連合会、自治会などで通学路安全推進会議を開いて、協議し改善している。
- 問** 防犯ブザーの活用はどうか。
答 防犯笛を各学校で日常的に指導している。
- 問** 不審者情報発信の効果と課題について、不審者発見数やメール登録数の現状はどうか。
答 不審者情報の発信は、27年度で25件、28年度で26件、29年度で20件。安心安全情報メールで発信している。8259人が登録している。

農業の担い手対策

問 基幹的農業従事者は、定年後の世代60歳以上が78・9%も占めている。就農青年の育成を急ぐべきだ。

答 担い手の確保は十分でない。担い手確保と農地集積に努めたい。

土地改良区の水利施設

問 土地改良区の揚水機場が老朽化している。水田の水利施設について支援すべきだ。

答 土地改良事業を実施する場合、国のガイドラインに準じた市の助成を行う。



老朽化した揚水機場

小規模事業者施設設備等整備補助金の創設を

問 商店や工場が減少を続けている。小規模事業者の店舗、工場等の

新築、改修等を支援する制度を創設してはどうか。

答 中心市街地空き家改修事業等補助金や従業員50人以下の工場について、整備・改修の助成をしている。

しらぎ荘への坂道に安全対策を

問 カーブしている坂道は危険であり、ガードレールを設置すべきだ。

答 必要な部分にはガードレールを設置している。自治会や指定管理者の意見を聞いて対応したい。

避難所の見直し

問 大面地区には吉野屋断層や大龍断層が走っている。鉄筋コンクリートの旧大湯保育所も避難所に指定すべきでないか。

答 旧大湯保育所は電気・水道・ガスがなくなった。災害の際は、小滝、大面、矢田、吉野屋の集会所を一時的な避難場所として開設する。

大崎中学校移転跡地の有効活用について

問 体育館の耐震補強工事の期間と概算費用は。

答 設計施工を含めて1年間くらい。

費用は4000万円程度を考慮している。

問 サッカーワールドカップロシア大会の日本代表選手酒井高徳さんの母校でもある。素晴らしい懸垂幕も出しておられるが、何か記念的なものができないのか。また、体育館、武道場、グラウンド等の名称を公募したらいいのではないのか。

答 開設に当たり検討していきたい。名称についても検討していきたい。

問 跡地の活用については、社会福祉法人報徳福祉会が希望しているようだが、法人の性格から、保育所や子育て支援センターのようなものになると思うがどうか。

答 大崎地区に子育て支援センターの設置を検討していきたい。現つくし保育園の移転改築の敷地として貸与してもらいたいという内容で、子育て支援センターを併設する定員180人の保育所を希望されている。

問 体育館は耐震補強後、市民サービスと投票率向上のため投票所に戻すべきでないか。

答 投票率の向上や有権者の利便性が高い場所に投票所を設置することが肝要であることから、旧大崎中学校を投票所とすることも十分視野に入れ検討していきたい。



平成29年度政務活動費収支報告

政務活動費は、地方議会議員の市政等に関する調査研究に資するための必要な経費の一部として、会派または議員に対し交付される金銭的給付です。三条市では、市議会における会派に対して、議員1人当たり月額3万円を年度当初に一括で交付しています。

この支出に当たっては使途基準に従って行われ、使途の透明性を図るため、支出したものの全ての領収書の提出が必要になっています。

各会派から平成29年度政務活動費の収支報告が提出されましたので、収支の状況をお知らせします。
(単位：円)

会 派 名		自由クラブ (8名)	新しい風 (6名)	自民クラブ (4名)	日本共産党議員団 (3名)	公明党議員団 (2名)	市民の会 (2名)	計 (25名)
収入内訳	政務活動費補助金	2,880,000	2,160,000	1,440,000	1,080,000	720,000	720,000	9,000,000
	雑入(預金利息)	13	12	9	5	3	1	43
	収入合計	2,880,013	2,160,012	1,440,009	1,080,005	720,003	720,001	9,000,043
支出内訳	調査研究費	1,021,294	642,958	397,038	0	0	0	2,061,290
	研修費	651,284	325,800	44,000	72,484	224,984	442,917	1,761,469
	広報費	0	0	0	753,775	0	79,400	833,175
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	67,176	111,080	1,778	51,408	75,834	146,215	453,491
	資料購入費	0	3,024	35,424	29,890	93,216	17,061	178,615
	人件費	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	0	0	0	0	0	0	0
支出合計		1,739,754	1,082,862	478,240	907,557	394,034	685,593	5,288,040
返還金		1,140,259	1,077,150	961,769	172,448	325,969	34,408	3,712,003

調査研究費	会派での先進地の調査研究など、行政視察に要した費用
研 修 費	会派による研修会、中越地区市議会合同研修会などの参加に要した費用
広 報 費	会報などの印刷に要した費用
広 聴 費	会派での住民要望、意見聴取、住民相談などに要した費用
要請・陳情活動費	会派での要請、陳情活動に要した費用
会 議 費	会派が行う会議、団体等が開催する会議への参加に要した費用
資料作成費	パソコンのリース代、コピー用紙代、プリンターインク代などの資料作成に要した費用
資料購入費	図書、資料などの購入に要した費用
人 件 費	会派が行う活動を補助する職員の雇用に要した費用
事 務 所 費	会派が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要した費用

臨	5
時	月
会	平成30年・第2回

市議会議員選挙後、初めての議会となる5月(第2回)臨時会を5月21日に開催しました。
この臨時会では、新しい議長、副議長の選出をはじめ、議会運営委員会、常任委員会の委員の選任などを行いました。また、市長提出の消防署下田分署に配備する水槽付き消防ポンプ自動車の取得の他、地方税法等の一部改正に伴う三条市税条例等の一部改正などの専決処分について同意または承認した他、議会選出の監査委員の選任に同意しました。



議案賛否一覧表

○：議案に対して賛成
×：議案に対して反対

議 案				会派名 (下段は所属議員数)		自由 クラブ	新 しい 風	自 民 ク ラ ブ	日 本 共 産 党 議 員 団	公 明 党 議 員 団	無 所 属	議 決 結 果
区 分	番 号	件 名	概 要	審査した委員会	7	5	4	3	2	1		
【市長提出】												
人事	議第1号	監査委員の選任について	議員のうちから選任された本市監査委員熊倉均さんは、平成30年4月30日任期満了したので、その後任委員として森山昭さんを選任するもの		○	○	○	○	○	○		同意
その他	議第2号	動産の取得について	水槽付き消防ポンプ自動車 I-B型(圧縮空気泡消火装置付き) 12t 1台 取得金額 6,458万4,000円 契約者 新潟モリタ株式会社		○	○	○	○	○	○		同意
専決処分	報第1号	専決処分報告について (三条市税条例等の一部改正について)	地方税法等の一部を改正する法律が平成30年3月31日公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、これに準じ、改正したもの 専決処分日：平成30年3月31日		○	○	○	○	○	○		承認
	報第2号	専決処分報告について (三条市国民健康保険税条例の一部改正について)	地方税法施行令等の一部を改正する政令が平成30年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されたことに伴い、これに準じ、改正したもの 専決処分日：平成30年3月31日		○	○	○	○	○	○		承認
	報第3号	専決処分報告について (平成29年度三条市一般会計補正予算)	市道の道路標示に関する訴訟の終了に伴う弁護士費用や、寄付採納に伴う財政調整基金等への積み立てについて、必要な予算措置を行ったもの 補正額 6,063万4,000円 補正後の額 507億4,681万8,000円 専決処分日：平成30年3月31日		○	○	○	○	○	○		承認
	報第4号	専決処分報告について (平成30年度三条市一般会計補正予算)	新潟県知事の退職に伴い行われる新潟県知事選挙に係る準備および投開票事務に要する経費について、必要な予算措置を行ったもの 補正額 3,506万7,000円 補正後の額 464億2,506万7,000円 専決処分日：平成30年4月24日		○	○	○	○	○	○		承認

議会日誌

4月

- 6日 議会報編集委員会
- 12日 議会報編集委員会
- 24日 議会報編集委員会
- 26日 第93回北信越市議会議長会定期総会 ～27日（富山県富山市）

5月

- 7日 元職・新人議員打合せ会
- 8日 各派代表者打合せ会
- 9日 島根県出雲市議会視察来条 6名
- 10日 政務活動費経理責任者会議
- 11日 各派代表者打合せ会
- 14日 各派代表者打合せ会
- 16日 元職・新人議員予算概要説明会 ～17日
- 17日 埼玉県新座市議会視察来条 11名
- 18日 各派代表者打合せ会
- 21日 第2回臨時会〔議長・副議長選出、議会運営委員会・各常任委員会委員選任〕
議会運営委員会
総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会
経済建設常任委員会
議会報編集委員会
- 25日 議会運営委員会
北信越市議会議長会表彰状伝達式
- 30日 第94回全国市議会議長会定期総会（東京都千代田区）

6月

- 4日 総務文教常任委員協議会
市民福祉常任委員協議会
- 5日 経済建設常任委員協議会
- 12日 各派代表者会議
議案概要説明会
議会運営委員会
- 18日 議会運営委員会

9月定例会日程

- 9月10日(月) 本会議 特別委員会設置、提案説明
- 12日(水) 本会議 大綱質疑～委員会付託
- 13日(木) 本会議 一般質問
- 14日(金) 本会議 一般質問
- 18日(火) 本会議 一般質問
- 19日(水) 市民福祉常任委員会
- 20日(木) 経済建設常任委員会
- 21日(金) 総務文教常任委員会
- 25日(火) 決算審査特別委員会
- 26日(水) 決算審査特別委員会
- 27日(木) 決算審査特別委員会
- 10月 1日(月) 決算審査特別委員会
- 3日(水) 本会議 委員長報告～採決

- 19日 本会議〔全国市議会議長会表彰状伝達式、提案説明〕
議会報編集委員会
- 20日 本会議〔大綱質疑～委員会付託〕
- 21日 本会議〔一般質問〕
- 22日 本会議〔一般質問〕
議会運営委員会
- 25日 本会議〔一般質問〕
各派代表者会議
- 26日 市民福祉常任委員会
- 27日 経済建設常任委員会
経済建設常任委員協議会
- 28日 総務文教常任委員会
湖周行政事務組合議会視察来条 25名
- 29日 各派代表者会議

7月

- 2日 議会運営委員会
- 3日 本会議〔委員長報告～採決〕
高等教育機関調査特別委員会

議員表彰

6月定例会の初日、永年にわたり市政発展に尽力された功績を称え、全国市議会議長会からの議員在職20年以上の特別表彰が伝達されました。



佐藤和雄議員

編集後記

4月の改選で、今回から議会報編集委員も新たな顔ぶれです。
梅雨末期の記録的豪雨で、西日本の大災害が連日報道されています。2度の豪雨災害を経験した三条市の私たちは、他人事とは思えず映像の先を見守っています。
地域を知り、人を知る議員の役割は一層重要になってきます。市民の声が市政を動かします。議会と市民をつなぐ『さんじょう市議会だより』に、ご感想をお聞かせください。よろしくお願いいたします。



議会報編集委員会

委員長／笹川信子

副委員長／馬場博文

河原井拓也 佐藤宗司 坂井良永 長橋一弘

発行／三条市議会 編集／議会報編集委員会 責任者／議長 阿部銀次郎

三条市議会事務局

電話：0256-34-5583

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/>

Fax：0256-33-8861

E-mail：gikaij@city.sanjo.niigata.jp



この印刷物は、
植物油インクと再生紙を
使用しています。